

# 議員版マニフェスト評価シート

対象者： 三沢市議会議員 太田 博之 評価者： 早稲田大学マニフェスト研究所 客員研究員 佐藤 淳

実現への取組	情報公開	自己啓発	取組全般	総合評価
35点	8点	8点	18点	69点

(評価者コメント)

<p><b>【マニフェスト実現への取組】</b> <span style="float: right;">35 / 60点</span></p> <p>マニフェストの20項目に関して、子育て支援条例、いじめ、児童虐待対策以外、ほぼ通り、一般質問や委員会等、議会の場で取り上げている。議会改革についても、「(仮称)行財政改革特別委員会」の立ち上げの目途が立ち、一定の道筋が見えてきた。今後、マニフェストの実現に向けては、議会内・外での更なる動きが必要となるが、政策の実現に向けて3月に政策中心の会派「みさわ未来」を立ち上げたことは評価出来る。特に、マニフェストの4項目で掲げている政策型の議員提案条例に関しては、会派で開催予定の議会報告会、タウンミーティングにより市民の意見を集約し、市民を巻き込み、議員提案として条例制定を目指すことが必要だ。</p>
<p><b>【議員活動の情報公開】</b> <span style="float: right;">8 / 10点</span></p> <p>11月にHPを立ち上げ積極的に議員活動の情報公開を行っている。HPでは、自身のマニフェスト、その進捗評価(通信簿)を掲載する他、各定例会の自身の一般質問の議事録も載せている。また、ブログは、ほぼ毎日更新し、議会内・外の活動と、折々の自身の考えが語られ、分りやすいものになっている。市政報告会に関して、当初2回の開催を目指していたが、1回の開催に終わったことは残念。ネット、報告会、チラシ、街頭演説等、様々な手段を有機的に活用し、市民に議員活動が見える様な取組を進めることを期待する。</p>
<p><b>【マニフェスト実現に向けての自己啓発の取組】</b> <span style="float: right;">8 / 10点</span></p> <p>ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟のメンバーとして、関連の各種研修会に参加し、マニフェスト、議会改革の先進事例の吸収に努めるとともに、県内有志の勉強会「市民とマニフェスト：あおもり研究ラウンジ」にも参加、県内でのマニフェスト定着の可能性を議論、研究している。また、一年目に引き続き、三沢市議会内でも、有志による勉強会の中心的メンバーとして、議会全体としてのレベルアップを目指した取組をおこなってきた。</p>
<p><b>【マニフェストの取組全般】</b> <span style="float: right;">18 / 20点</span></p> <p>ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟のメンバーとして、マニフェストの普及と、政策中心の選挙、政治の実現に積極的に取り組んでいる。また、毎年、マニフェストの評価を実施し、マニフェスト・サイクルの重要性を意識した、議員活動を実践している。昨年の活動の中では、9月に、「コミュニティー・スクール」の実現に向け、市民の意識啓発の為にフォーラムを開催した取組は特筆に値する。議会で質問するだけでなく、市民を巻き込み、どのようにして政策を実現させていくか、地域主権時代の議員の活動の手本となる。</p>

(2010年4月30日)

## 議員版マニフェスト評価手法について

早稲田大学マニフェスト研究所 客員研究員  
青森中央学院大学 経営法学部 専任講師  
佐藤 淳

今回、太田博之三沢市議会議員の議員版マニフェストの評価を実施するに際して、以下の評価手法、採点基準を採用した。なお、今回の議員版マニフェストの評価にあたっては、マニフェストの実現度の評価とともに、議員活動全般についての評価を合わせて実施することにより、マニフェスト型議員活動、つまり、マニフェスト・サイクルを意識した議員活動の実践の状況も合わせて、検証、評価することとしている。

### 1 評価手法

今回の評価は、当選2年目（2009年4月～2010年3月）のマニフェスト型議員活動の評価であることを基本とする。なお、太田博之議員が行ったマニフェストの自己評価を基に、それぞれに対してヒアリングを実施することにより第三者評価を行っている。

評価は100点満点で採点し、80点が採点基準によるもので、残りの20点が評価者の判断（マニフェストの取組全般）で採点する。採点基準に伴う80点の内訳は、マニフェスト実現への取組60点、議員活動の情報公開10点、マニフェスト実現に向けた自己啓発の取組10点とする。昨年の第三者評価においては、1年目の評価と言うこともあり、マニフェストの形式的評価も評価対象（配点20点）としたが、今回は2年目でもあり、その項目を評価対象から外し、よりマニフェスト実現への取組の評価に重点を置いた配点とした。

### 2 採点基準（チェックポイント）

#### マニフェスト実現への取組（60点）

- ・議会の一般質問、委員会質問でマニフェストの内容を取り上げている
- ・議会で質問として取り上げるだけでなく、実現へ向けて様々な動きをおこしている
- ・活動の成果として、条例制定、予算割り当て、業務改善など具体的に実現した
- ・市民レベルで、マニフェストについて成果が上がったと実感できる

#### 議員活動の情報公開（10点）

- ・マニフェストについて市民に十分説明している
- ・日頃の議員活動について、何らかの形（HP、ビラ等）で市民に情報公開をしている

#### マニフェスト実現に向けた自己啓発の取組（10点）

- ・議員の政策力強化の為、研修会等に主体的に参加している
- ・党派を超えた議員間のネットワーク構築を行っている

#### マニフェストの取組全般（20点）

- ・マニフェスト型政治、議員活動への意欲
- ・マニフェスト・サイクルを意識した取組を実施している

（2010年4月30日）